

事業報告

事業名	令和3年度第7回屋久島研究講座	事業体系	環境学習事業
期 日	令和4年1月14日（金）20：00～21：30		
場 所	オンライン（ZOOM利用）		
対象者	すべて	参加者数	286名 （内受講証明書発行21名）
<p>（概 要）</p> <p>1 講師 揚妻 直樹（北海道大学苫小牧研究林 教授）、揚妻芳美</p> <p>2 演題 「ヤクシカと屋久島 神秘の森に小さなシカを追いかけて」</p> <p>3 講演内容 ヤクシカが小型化した理由、ヤクシカの行動範囲、サルとの関係などヤクシカの生態について、視覚的わかりやすく説明された。 特に小型化した理由について、「恒温動物においては、同じ種でも寒冷な地域に生息するものほど体重が大きくなる」というベルクマンの法則には当てはまらない事例があり、むしろ島嶼化によるものと考えられる理由について詳しくお話しいただいた。</p> <p>4 受講者アンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい気づきをありがとうございました。 ・ヤクシカと世界のシカを比較した内容に大変興味が持てました。 ・特にベルクマンの法則がシカには添わず、島嶼型で大きさが似通ってくる点は新しい発見でした。 ・揚妻さん夫婦が20年以上もヤクシカの調査（特に一頭の鹿の一生を記録し続ける等）をしていたことを知り驚いた ・シカの威嚇する/される頻度。この割合は非常に興味深い <p>※ 屋久島町エコツーリズム推進協議会登録ガイド更新条件の対象となっています。</p> <p>※アーカイブをご覧ください。 オンラインアカデミー屋久島大学HP https://yakudai.jp/</p>			
資料等	なし		